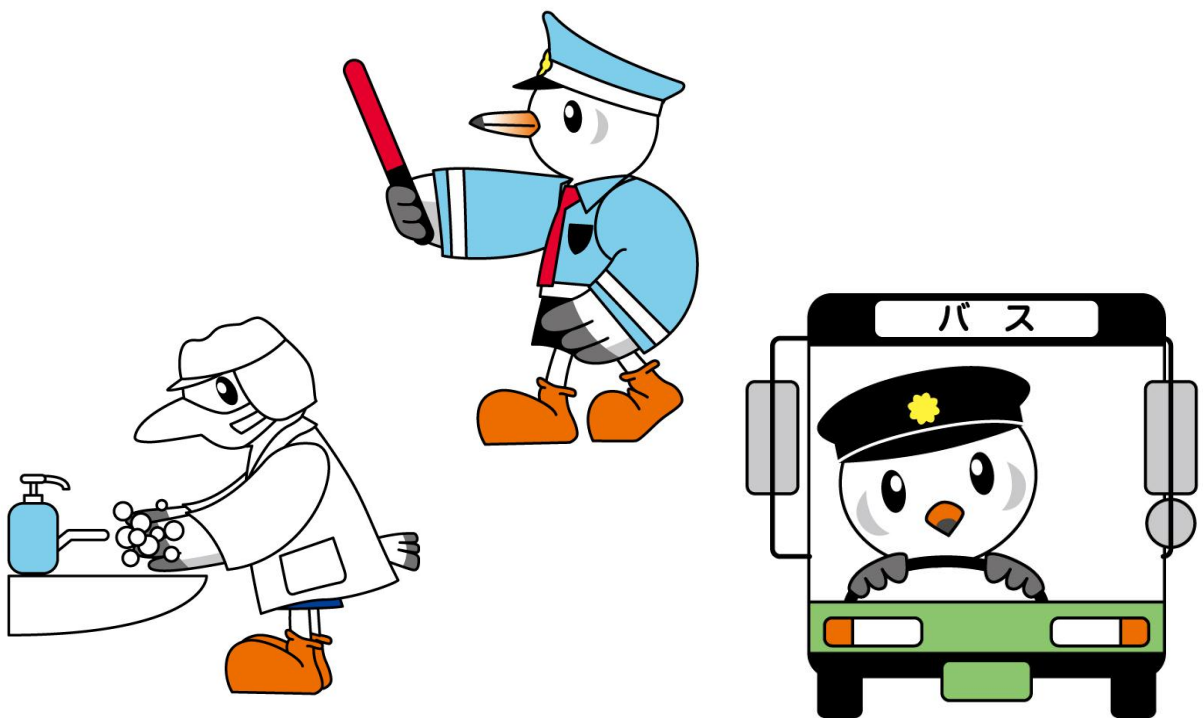




第68回国民体育大会

スポーツ祭東京2013武蔵村山市実行委員会

第2回宿泊輸送専門委員会



東京に 多摩に 島々に 羽ばたけアスリート

スポーツ祭東京2013

日時 平成24年11月20日(火)

午後7時30分開会

場所 中部地区会館403集会室

目 次

○報告事項

報告事項 1 1
第 6 8 回国民体育大会ハンドボール競技リハーサル大会 「第 1 7 回ジャパンオープンハンドボールトーナメント」実施報告	
報告事項 2 1 4
ぎふ清流国体ハンドボール競技視察報告（皇族御覧含む）	
報告事項 3 2 7
広報活動について	
・各種イベントでの活動（平成 2 4 年度内）	
・気運醸成開催記念事業について（バスラッピング・街頭フラッグ・カウントダウンボード）	
報告事項 4 3 0
協賛について	

○協議事項

協議事項 1 医療衛生関係業務について	
I スポーツ祭東京 2 0 1 3 武蔵村山市医療救護要項（案） 3 4
II スポーツ祭東京 2 0 1 3 武蔵村山市防疫・食品衛生対策要項（案） 3 5
協議事項 2 宿泊業務について	
I 宿舍配宿状況について 3 6
II スポーツ祭東京 2 0 1 3 武蔵村山市弁当調達要項（案） 3 7
協議事項 3 輸送交通関係業務について	
I スポーツ祭東京 2 0 1 3 武蔵村山市輸送交通対策実施要項（案） 4 1
協議事項 4 防災警備関係業務について	
I スポーツ祭東京 2 0 1 3 武蔵村山市防災警備実施要項（案） 4 4

スポーツ祭東京2013武蔵村山市実行委員会
第2回宿泊輸送専門委員会

1 開 会

2 あいさつ

3 報告事項

- (1) 第68回国民体育大会ハンドボール競技リハーサル大会「第17回ジャパンオープンハンドボールトーナメント」実施報告
- (2) ぎふ清流国体ハンドボール競技視察報告（皇族御覧含む）
- (3) 広報活動について
- (4) 協賛について

4 協議事項

- (1) 医療衛生関係業務について
- (2) 宿泊業務について
- (3) 輸送交通関係業務について
- (4) 防災警備関係業務について

5 閉 会

報告事項1 第68回国民体育大会ハンドボール競技リハーサル大会

「第17回ジャパンオープンハンドボールトーナメント」実施報告

○実施日

平成24年8月10日（金）・11日（土）

○競技会場

武蔵村山市総合体育館

○大会開催までの準備について

(1)大会開催ポスター・チラシの作成及び各施設への配布

大会開催を広く周知するために、大会開催ポスターとチラシを作成し、市内公共施設及び市内循環バス車内に掲示、イオンモール等商業施設へ掲示依頼し、市内小中学校、市内高校、特別支援学校、都内中学校・高校ハンドボール部、都内小学生ハンドボールチームへチラシを配布した。



(2)消防訓練の実施

7月30日（月）、午前11時10分～午前11時40分、火元を2階機械室に設定し、消火、通報連絡、避難誘導等一連の訓練及び消防署員による訓練用消火器の実演および使用体験を行った。

総合体育館職員及び体育館利用者約30名による消防訓練を実施。

消防訓練の前には、消防署職員による査察が行われ、改善指導を受け対応した。大会開催前日にも視察が行われた。



(3)花いっぱい運動について

7月30日(月)～8月5日(日)、花の栽培ボランティア、市内幼稚園・保育園・小中学校・高等学校、特別支援学校が栽培したプランターを総合体育館に収集し、8月8日(水)に、第五中学校ハンドボール部員による、競技会場周辺にプランター設置を行い、同時に市内花栽培団体による「ゆりーと」のフラワーデコレーションを設置した。





(4) 歓迎・装飾運動について

市内の各所に横断幕、のぼり旗、卓上のぼり旗等の設置を行った。8月8日(水)には、第五中学校ハンドボール部員による、競技会場周辺に歓迎のぼり旗を設置した。また、市内児童館の児童作成による歓迎掲示物を体育館入口に掲示した。





(5) 競技会場の設営について

本市の競技会場では、スポーツコートを設置した。スポーツコートの設置については、都立武蔵村山高校ハンドボール部、市立第五中学校ハンドボール部、総勢40名で行った。

8月6日（月）午前9時から午後3時まで、約5時間かけて設置した。

8月12日（日）午前9時から午後12時30分まで、約3時間30分かけて、都立武蔵村山高校ハンドボール部員の協力で解体した。



(6) 会場の設営について



会場設営については、業者へ委託し、総合体育館及びその他の会場を大会仕様に設営した。





○大会当日の対応について

(1)実施本部について

部	班	担当	主な業務内容	業務の様子
総務広報部	総務班	総務担当	<ul style="list-style-type: none"> ・実施本部の総括及び業務全般に関すること。 ・運管用物品の調達、管理に関すること。 ・来賓・役員の接待に関すること。 ・拾得物・遺失物・迷子に関すること（受付案内班から引継ぎ後）。 ・緊急事態への対応に関すること。 ・他の班に属さない業務に関すること。 	 
	広報記録班	広報記録担当	<ul style="list-style-type: none"> ・会場内の記録写真等に関すること。 ・報道機関との連絡調整に関すること。 	

<p style="text-align: center;">会場班</p>	<p>会場担当</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観客、チーム関係者等の整理、誘導に関すること。 ・看板、掲示物等の管理に関すること。 	 
<p style="text-align: center;">受付案内班</p>	<p>受付案内担当</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大会関係者の受付及び案内に関すること。 ・会場案内（競技会場・競技案内等）に関すること。 ・観光案内及び物産品の紹介に関すること。 ・交通、輸送等の案内に関すること。 ・拾得物・遺失物・迷子に関すること。（総務班との連絡調整） 	  

	<p style="text-align: center;">弁当班</p>	<p>弁当担当</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弁当の引換、回収に関する事。 ・選手等チーム関係者への飲料水の提供に関する事。 	 
<p style="text-align: center;">宿泊輸送部</p>	<p style="text-align: center;">医療救護班</p>	<p>医療救護担当</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会関係者等に傷病者がでた場合の応急処置、その他救急業務に関する事。 ・医療機関への移送に関する事。 ・医薬品等の管理に関する事。 	
	<p style="text-align: center;">交通駐車場班</p>	<p>交通駐車場担当</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場、駐輪場への誘導及び競技会場等への案内に関する事。 ・駐車場、駐輪場の管理に関する事。 	 

	<p>防災警備班</p>	<p>防災警備担当</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場内の巡回及び不審者・不審物の発見に努めること。 ・会場内の巡回を行い、万が一災害が発生した場合は、大会参加者等の避難誘導等に関する事。 ・緊急時、警察および消防への対応に関する事。 	
<p>競技式典部</p>	<p>競技記録班</p>	<p>競技記録担当</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他区市会場への定期連絡及び他区市会場の情報収集に関する事。 ・記録速報板への掲示に関する事。 ・記録速報箱の設置及び記録用紙の配布に関する事。 	 
	<p>環境美化装飾班</p>	<p>環境美化装飾担当</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場内の美化・清掃に関する事。 ・ごみの収集及び整理に関する事。 ・プランターの水やりに関する事。 ・プランター及びのぼり旗の設置、撤去に関する事。 	 

アップ会場班	都立武蔵村山高等学校担当	<ul style="list-style-type: none"> ・アップ会場の管理に関すること。 ・アップ練習時間の管理、選手の誘導に関すること。 	
--------	--------------	--	--

(2)休憩所について

一般観覧者の方に疲れを癒していただくために休憩所を設置した。



(3)売店について

7月1日から募集を行い、9店舗を出店した。地元の店舗は3店舗で、その他は市外の店舗であった。



(4)大会開催中のイベントについて

大会を盛り上げるために、様々なイベントを行った。

- ・先着100名の来場者に「ゆりーとキーホルダー」配布

大会開催両日のそれぞれ、先着100名（2日間200名）に「ゆりーとキーホルダー」の配布を行った。



・ 7m スロー大会

大会2日目の準々決勝終了後、午後1時から7m スロー大会を開催した。



・ ゆりーとダンス「ニッコリ・ファイト！」披露

武蔵村山市ストリートダンス連盟によるスポーツ祭東京2013のイメージダンス「ニッコリ・ファイト！」の披露を行った。



(5)来場者数

8月10日(金)	4試合	延べ	約760人
8月11日(土)	3試合	延べ	約910人

合計 1,670人

○総合開会式

総合開会式は、平成24年8月9日（木）、墨田区のすみだリバーサイドボールで開催された。武蔵村山市からは、副市長が出席した。



○武蔵村山市の試合結果

1日目：8月10日(金)

1回戦

香川銀行 T・H(香川県) 29(14-11,15-8) 19 ninfa・kagoshima(鹿児島県)

野辺地クラブ (青森県) 23(7-11,16-7) 18 かぶら女子ハンドボールクラブ (群馬県)

JJ GANG (福井県) 30(16-10,14-12) 22 梅の家 (東京都)

京都クラブ (京都府) 26(11-11,15-11) 22 シャトレーゼ HC (山梨県)



2日目：8月11日(土)

準々決勝

香川銀行 T・H(香川県) 40(23-6,17-12) 18 野辺地クラブ (青森県)

京都クラブ (京都府) 22(13-13,9-8) 21 JJGANG (福井県)



準決勝

香川銀行 T・H(香川県) 3 9 (23-6,16-7) 1 3 京都クラブ (京都府)



※最終結果

区分	男子の部	女子の部
優勝	Honda (三重県)	香川銀行T・H (香川県)
準優勝	長崎社中 (長崎県)	HC高山 (岐阜県)
第三位	HC岐阜 (岐阜県)	徳山クラブ (山口県)
第四位	F S T (東京都)	京都クラブ (京都府)

○女子の部表彰式・閉会式

決勝戦が終了した後、女子の部の閉会式・表彰式を多摩市総合体育館で実施した。武蔵村山市からは、副市長、体育協会会長が出席。優勝チームには、開催区市賞として、開催市の特産物が贈られた。(多摩市：ハロキティーのマスコット、武蔵村山市：村山かてうどん)



○まとめ

2日間としまして、大会に参加した選手・監督等チーム関係者へ、武蔵村山市へお越しいただいた少しばかりのおもてなしと、大きな怪我もなく大会を開催できたこと、東京都及び日本ハンドボール協会をはじめとする大会関係者から、大会会場や運営に関しての高評価をいただいたこと、また市職員及び市民ボランティア、また来場していただいた多くの市民に、国体の雰囲気と、ハンドボールの魅力を体感していただき、来年の国体開催に期待を膨らませられたことから、本大会は大成功であったと言える。

全体的な評価は高かったものの、本来のリハーサル大会の目的である大会運営能力の向上という面においては、競技団体との綿密な調整、市職員との情報の共有化というところに改善の必要がある。今大会では実施しなかった業務(行幸啓、式典・

表彰、計画応援、おもてなし、練習会場等) に関しては、国体での対応が最初で最後の業務となるため、先催県の事例若しくは、他区市を参考に綿密な計画及び準備をしなければならない。今大会での課題や成功事例を来年の本市の国体開催に十分に活かし、準備を進めていきたい。

報告事項 2 んふ清流国体ハンドボール競技視察報告

第68回国民体育大会「スポーツ祭東京2013」ハンドボール競技の大会運営は、市をはじめとする関係各界各層の参画による実行委員会が担うことから、これらの体制の要となる市職員等が先催県の実態を視察することはとても重要である。

第67回国民体育大会「ぎふ清流国体」ハンドボール競技等を視察し、今後の準備における取り組みの参考とすることを目的とする。

○視察日

平成24年10月4日（木）～9日（火）

○視察先

- ・桜ヶ丘体育館（飛騨市）
- ・飛騨高山ビッグアリーナ（高山市）
- ・世界生活文化センター（高山市）
- ・中山中学校（高山市）
- ・下呂交流会館（下呂市）
- ・その他

○視察内容

「第67回国民体育大会ハンドボール競技」試合会場他・周辺状況などの確認等。

○視察員

副市長 山崎 泰大	企画財務部長 比留間 多一	生活環境部長 内野 正利	教育委員会教育部長 河野 幸雄
生涯学習スポーツ担当部長 小川 和男	総務契約課長 高尾 典之	秘書広報課長 小林 真	産業観光課長 峯尾 正彦
教育総務課長 中野 育三	健康推進課長 有山 友規	出張所担当課長 諸星 裕	道路公園課長 神子 武己
文書情報課長 田代 篤	企画政策課長 比留間毅浩	財政課検査担当課長 福井 勇	障害福祉課長 登坂 正美
環境課長 鈴木 毅士	地域福祉課長 石川 浩喜	教育指導課長 小寺 康裕	国体推進室長 鈴木 浩
国体推進室 主査 平野兼一	国体推進室 主任 外園元紀	総務契約課 石井 勝成	スポーツ推進委員協議会 会長 川島 良夫
体育協会会長 宮下 清住	体育協会副会長 堀田 兼光	体育協会副会長 有吉 正博	交通安全協議会会長 比留間 勇

○視察報告

・開始式（高山自動車短期大学）

10月4日（木）、高山市の高山自動車短期大学にて開始式が行われた。開始式の前には、地域の保育園児によるミナモ体操が行われ、その後開始式となった。

開始式の司会は、高山市の職員が行っていた。各会場副市長が出席。挨拶は、高山市副市長が代表して挨拶した。開始式自体は、約30分で終了。出場チームから2名ずつ出席していた。開始式終了後代表者会議を行っていた。



・飛騨高山ビッグアリーナ（高山市）

ハンドボール競技のメイン会場となった飛騨高山ビッグアリーナ。仮設席も用意されており、1500席はあったようだ。平日は計画応援が行われていたが、観客席すべてが埋まるほどではなかった。ただし、地元岐阜県の試合のときは、超満員状態。立ち見もあり、1500席が埋まるほどの盛況ぶり。ただし、岐阜県の試合以外はまったくであった。

計画応援（市内小中学校の生徒の学校観戦）も行っていた。応援するチームを決めて応援していたので、歓声と会場の一体感が非常にあって、国体を開催しているといった雰囲気があった。

コートは、モルテンのシールコートであった。バスケットボール競技の後にハンドボール競技があり、中1日で準備を行わなければならなかったため、スポーツコートは敷くことができなかったとのこと。

日体協からの依頼で、オリンピック招致関係のオフィシャルサプライヤーの企業名がコート側に掲げられてあった。

アップ会場があったが、柔道場をアップ会場としていた。（写真は、畳を敷いているが、大会開催時は、畳を撤去していた。）サブアリーナは、競技会補助員の控室になっていた。使用したチームがあったのかは確認できていない。

選手の控室は6部屋。3試合分の控室を用意していた。例年の国体同様である。

観客席は土足でも大丈夫だったが、選手・役員等しか入れないエリアは、土足禁止であった。

松やに対策は、いたるところにしてあったが、選手自身が気を使うということで、必要最低限の対策をしていた。選手が通る階段も真ん中だけ養生したり、ドアの取っ手もアバウトにテープを巻いていたり、さほど松やにを気にしているようには見えなかった。



歓迎装飾は、会場には設置してあったが、会場までの道路や会場周辺にはほとんどなかった。会場も基本的に必要最低限といった感じがした。応援のぼり旗、歓迎プランターなどあったが、数も少なくあまり目立っていなかった。昨年の山口国体、周南市では選手や家族等で歓迎装飾の前で写真を撮る人が見受けられたが、今回は見られなかった。





売店は、全部で30テント並んでいた。20店舗がスポーツ用品関係、ミナモグッズ、お土産等で、10店舗が飲食関係であった。



おもてなしは、休憩所のそばで行われていた。視察当日も焼き団子をふるまっていた。



選手・関係者・役員等の駐車場は会場周辺（200台）に、一般車両は高山総合庁舎（1000台以上）の駐車場に止めることになっていた。無料シャトルバスがあり、高山駅→総合庁舎→ビックアリーナ→中山中→ビックアリーナ→総合庁舎→

高山駅のルートと、高山駅→飛騨・世界生活文化センター→高山駅のルートがあった。シャトルバスは大型バスで、総合庁舎からの利用はあったが、駅からは少なかったように感じた。



幹旋弁当を食べてみた。例年の国体幹旋弁当は、地のものを使った弁当になっていたが、特にそのような明記もなく、普通の弁当だったように感じる。弁当を包む紙には、市内で募集した国体のポスターデザインコンテストで入賞した絵を載せてあった。



毎年、日本ハンドボール協会から依頼のある「7mスローコンテスト」が開かれていた。

キーパーはミナモで、参加した子供たちは楽しそうだった。



各種表彰は、準々決勝が終了した後に、5位表彰。3位決定戦と決勝戦が終了した後に部門別の表彰式が行われた。

5位表彰は、準々決勝の4試合それぞれの試合が終了した後、負けたチームを5位として表彰していた。各部門ごとに、3位決定戦と決勝戦が終了した後、部門別

の表彰を行った。1位から4位まで、賞状とミナモバージョンのさるぼぼ（飛騨高山地方の縁起の良いお守り）を渡していた。優勝チームには副賞として、飛騨牛・お米・トマトジュースを渡していた。



・世界生活文化センター（高山市）

高山市のハンドボール会場3会場のうち、少年女子の準決勝まで3日間行われた会場である。元々、展示会、芸能公演、講演会等が開催される芸術・文化施設の要素が強い施設である。多目的ホールとして使用しているため、床にはスポーツコートが敷かれていた。

観客席は、コート側にパイプ椅子で200席ほどだろうか、片方のゴール裏にパイプ椅子で100席ほど用意していた。

学校計画応援がここでも行われており、熱心に生徒たちが応援していた。

来年の開催地の東京都代表は、惜しくも準々決勝で敗れ5位であった。来年の活躍を期待したい。

会場周辺には、のぼり旗や歓迎プランターなどきれいに装飾されていた。

おもてなしは、ここでは豚汁がふるまわれていた。

売店は、10店舗あり、スポーツ用品、ミナモグッズの店が主であった。

駐車場は広く、200台ほどとめられる規模の駐車場であった。





・高山市立中山中学校

少年女子・男子の1回戦、2回戦を行った会場である。平日の開催ということで、市立中学校ということもあり、通常学校が行われながらの国体開催であった。非常にきれいな学校であった。数年前に建て直されたばかりで、体育館等も通常公共施設として使用されているようだ。2日間の開催ということで、3日目以降は駐車場として使用されていた。

売店もしっかり設置されており、歓迎装飾もオリジナリティあふれるものがあったりと、コンパクトであったが、しっかり会場設営がされていた印象であった。





・桜ヶ丘体育館（飛騨市）

飛騨市の会場は、古い施設であることと、またハンドボールコートがギリギリとれる会場ということで、非常にコンパクトかつ、単純な会場設置であった。観客はコート横に仮設スタンドを設置しておりおおよそ100席ほどだろうか。一般客の出入りは1か所。また役員・選手の入るところとは、完全に区別していた。また、ハンドボール界では有名な選手である、宮崎大輔選手が来るということもあり、土・日・月は整理券の発行をしていた。飛騨市の桜ヶ丘体育館は、中学校と隣接しているということで、中学校の校庭を使って、おもてなしや売店、駐車場を設置していた。





・下呂交流会館（下呂市）※情報提供分

非常に大きな会場、新しい会場であった。市民会館なるものが一緒にある複合施設であった。売店が多く建ち並び、さすがに観光地、温泉地と、お店の方々もおもてなしに慣れている感じがした。下呂市は、成年女子の開催であった。

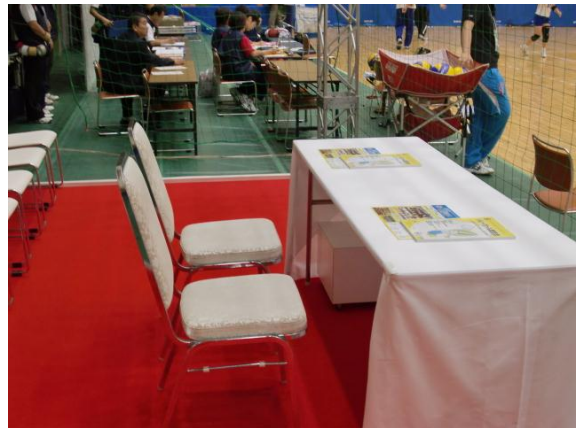
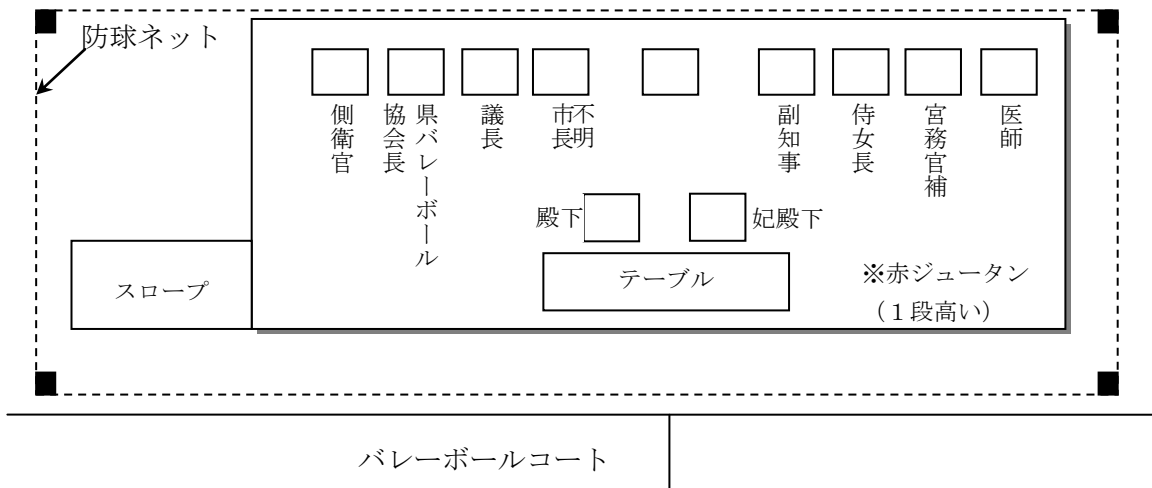


・行幸啓、お成りについて ※視察員からの情報提供分

ハンドボール競技が行われた飛騨市、高山市、下呂市では皇族の御覧がなく、バレーボール競技（成年女子）が行われた美濃加茂市の視察に行ってきた。

- 1 日 時：平成24年10月5日（金）10時～正午
- 2 会 場：岐阜県美濃加茂市「プラザちゅうたい」
- 3 種 目：バレーボール成年女子
- 4 視察者：企画財務部長（比留間）、秘書広報課長（小林）、国体推進室（外園）
- 5 行幸啓した者：常陸宮殿下、同妃殿下

6 ロイヤルボックスの配置図



7 気付いたもの

- ① 市長？（もしかすると副知事）が先導し入場した。
- ② 入場の際には、小旗による歓迎や歓声などはなかった。また、これを促す放送もなかった。
- ③ 殿下・妃殿下の後ろに着座した者が、始終説明を行っているように見えた。
- ④ 観覧時間は20分程度（1セットのみ）であった。
- ⑤ 殿下の動線上は、選手、大会関係者、来場客の関係なく立ち入りはできないようにしていた。また、閉鎖するに当たっては、会場内に入るとこれから1時間は外に出ることはできないとの説明を行っていた。
- ⑥ 会場内に続く通路は、入場の30分前から退場までの間は閉鎖した。
- ⑦ 入場するにあたって、持ち物検査はなかった。
- ⑧ 警護については、施設内は私服警官が死角のないように配置されていた。施設外は不明。
- ⑨ お成りの自動車は5台であった。
- ⑩ お出迎えとお見送りは確認できず。
- ⑪ 御休所は、パネルで仕切った4畳程度のものであり、椅子2脚、小テーブル2台、荷物置き2台、靴べらが備えがあるのみの質素なものであった。

御休所配置図



8 考察

敷地内には、行幸啓があることを知らせるものはなく、会場に入るときにも手荷物検査等はなかった。また仰々しい雰囲気もなかった。周りに気を付けて目をやると私服警官が配備されていることぐらいが気になった程度である。ロイヤルボックスの配置場所は、本来、2階観客席の一部に設置すべきものと思われるが、行幸啓された常陸宮殿下の歩行が芳しくなく、また2階へのエレベーターないことや観客席が階段状になっていることから、階段を利用せずに入退場できる1階のコートわきに設置したのではないかと推察できる。

いずれにしても客観的に見て必要最低限の対応であったのではないかと感じられた。しかし、行幸啓される方が陛下と殿下では、供奉員、随従員の数さらには観客数も違うことが考えられたため、来年度の本市開催時には、陛下、殿下に問わず対応できるよう準備しておくことと、誰がいつ行幸啓されるかについての情報収集に努めるべきであると考えます。

○まとめ

昨年の山口国体同様、平成の大合併で、市町村が少なくなり、各自治体 1 種目ではなく、2 種目も 3 種目も担当するため、経費も労力も要する。高山市はハンドボール競技、バスケットボール競技、アーチェリー競技、飛騨市はサッカー競技、ラグビー競技、ハンドボール競技、下呂市はソフトボール競技、ハンドボール競技と複数種目の開催地であった。各市で綿密な大会運営とできる限りのおもてなしを行っていたが、高山市に見られるように、高山まつりと国体開催日が重なったりし、非常に大変だったと聞いている。東京国体は基本的には種目が重複するところは少なく、1 自治体 1 種目がほとんどである。本市においても正式競技はハンドボールのみということなので、山口国体、岐阜国体のハンドボール競技開催市に比べれば、もっと中身の濃い大会運営ができる。

本市は「人と人との絆を大切に」をモットーにしたまちづくりが進められており、国体運営も来場者へのおもてなしを特別なものにし、来ていただいた人に本市の文化や自然にも触れてもらい、思い出深い国体になるよう準備を進めたい。

報告事項3 広報活動について

スポーツ祭東京2013武蔵村山市広報計画（平成24年4月6日第2回常任委員会決定）に基づき、大会開催の意義を広く市民に周知し、その理解を深めるため、市民・事業者・行政の協働による計画的・効果的な広報活動の推進を図った。

・各種イベントでの活動（平成24年4月から11月まで）

実施日	事業名	内容
5月3日（木） ・4日（金）	東京都社会人ハンドボールリーグ戦	大会選手等へリハーサル大会の啓発用ポケットティッシュ200個配布。
5月12日（土）	ドリームフェスタ2012in 武蔵村山	ハンドボール教室が行われた。ゆりーとダンスの披露。啓発用ポケットティッシュ200個・うちわ200枚配布。
	東京都中学校ハンドボール春季（多摩地区）大会	大会選手等へ啓発用ポケットティッシュ200個・うちわ100枚を配布。
5月13日（日）	市民歩け歩け大会	東京都ウォーキング協会の協力を得て、国体PRを行う。啓発ボールペン200個配布。
5月27日（日）	クリーン作戦	総合体育館周辺の清掃活動及びクリーン作戦参加。総合体育館に参加の人には、ゆりーと軍手40枚、うちわ60枚、クリーン作戦の青少対等へ啓発用ポケットティッシュ240個配布。
6月17日（日）	東京都少年少女ハンドボール大会	大会参加者等へ、啓発用ポケットティッシュ200個・クリアファイル200枚・うちわ200枚配布。
7月2日（月）	武蔵村山市キャッチフレーズ・ポスターデザインコンテスト募集	キャッチフレーズ・ポスターデザインコンテストを実施し、優秀な作品はポスターにして、市内での国体啓発を行う。
7月7日（土）	平成24年度市立中学校総合体育大会開会式	開会式の後のエキシビジョンマッチ（ハンドボール）でゆりーとを登場させ、啓発活動を行った。
7月14日（土）	青少年補導連絡会チラシ配り	青少年補導連絡会が市内5店舗（イオンモール、ダイエーなど）で、チラシを配布。その際、チラシ400枚・ティッシュ400個・クリアファイル400枚配布。
7月15日（日）	納涼盆踊り大会	民踊連盟の皆さんと「ゆりーと盆踊り」を披露。チラシ100枚・うちわ100枚・ティッシュ100枚配布。

7月22日(日)	ゆりーとダンスフェス in イオンモール	イオンモールで、市内ダンスチームによるダンスフェスを開催。ゆりーとダンスで啓発を行った。啓発用うちわ800枚配布。
8月5日(日)	市総合体育大会開会式	大会開会式にゆりーとを出席させ、国体のPRを図った。リハーサル大会の告知を行った。チラシ100枚・ティッシュ100個・うちわ100枚を配布。
8月10日(金)・11日(土)	第17回ジャパンオープン ハンドボールトーナメント	本大会のリハーサル大会の実施。2日間先着100名にオリジナルゆりーとキーホルダーを配布。
8月25日(土)	納涼花火大会	来場者にうちわ300枚配布。
9月2日(日)	福祉まつり	来場者にうちわ300枚配布。
9月8日(土)	市総合体育大会ハンドボール競技	参加者にえんぴつ、消しゴムセット200セットを配布。
9月30日(日)	緑ヶ丘ふれあいセンター まつり	市内団体「シャインキッズ」がゆりーとダンスの披露。えんぴつ、消しゴムセット100セット・うちわ100枚配布。
10月8日(月)	みんなの体育館	来場者にティッシュ200個・うちわ200枚配布。
10月13日(土)	テマリ第2保育園運動会	園児によるゆりーとダンスの披露。保護者へうちわ300枚配布。
	えんとつフェスティバル	小平・東大和・武蔵村山の国体担当によるPR活動を行った。ボールペン100個・うちわ100枚を配布。
10月14日(日)	地区ふれあいスポレク大会	スポレク大会で、ゆりーとダンスの披露。えんぴつ、消しゴムセット400セットを配布。
10月20日(土)・21日(日)	デエダラまつりでのPR	国体ブース及び「ゆりーとダンス」等の紹介。応援メッセージを書いてもらった方エコバック500、ボールペン500、ウェットティッシュ500、クリアファイル500、うちわ500を配布。
11月11日(日)	ゆりーとダンスフェス in イオンモール	イオンモールで、市内ダンスチームによるダンスフェスティバルを開催。ゆりーとダンスを披露し、観覧者へウェットティッシュ800枚配布。
11月17日(土)・18日(日)	Foodグランプリ	国体PRを行い、エコバック1000枚配布。
	東京都高等学校秋季 ハンドボール大会	大会参加選手へゆりーとキーホルダーを配布。

・気運醸成開催記念事業について

この事業は、第68回国民体育大会及び第13回全国障害者スポーツ大会（以下「スポーツ祭東京2013」という。）の開催気運を醸成し、またこれを永く記念するため、区市町村が行う気運醸成・開催記念事業について、東京都が補助金を交付するものである。この補助を使って、市内で多くの気運醸成事業を行った。

- ・市内循環バスラッピング
- ・市内ゴミ収集車マグネットシート
- ・ハンドボールゴール及び関係備品購入
- ・街頭フラッグ設置
- ・啓発のぼり旗作成
- ・啓発看板作成・設置
- ・歩道用啓発シール作成
- ・開催カウントダウンボード作成・設置
- ・ひまわりガーデンにおけるのぼり旗、看板作成・設置
- ・オリンピック招致とスポーツ祭東京2013の気運醸成を目的とした啓発物品の作成



報告事項4 協賛について

スポーツ祭東京2013武蔵村山市協賛取扱要項（平成24年4月6日第2回常任委員会決定）に基づき、募集した企業又は団体から大会の広報啓発又は運営に要する諸物品を協賛品としていただいた。

企業・団体協賛状況（平成24年11月1日現在）

団体・企業名	物品	数量	写真
映画「エクレール・お菓子放浪記」 武蔵村山市上映実行委員会	横断幕	1枚	
公益社団法人武蔵村山市シルバー人材センター	横断幕	1枚	
武蔵村山市ライオンズクラブ	看板	1枚	
国際ソロプチミスト武蔵村山	のぼり旗	60枚	
(有) アキヤマスポーツ	役員帽子	100個	

<p>社団法人武蔵村山医師会</p>	<p>飲料水</p>	<p>300 本</p>	
<p>J A東京みどり武蔵村山</p>	<p>のぼり旗</p>	<p>60 本</p>	
<p>東京武蔵村山ロータリークラブ</p>	<p>グラフィック ステッカー・横 断幕</p>	<p>一式</p>	
<p>武蔵村山市金融団</p>	<p>のぼり旗</p>	<p>20 本</p>	
<p>一般社団法人東京都武蔵村山市 歯科医師会</p>	<p>うちわ</p>	<p>1000 本</p>	
<p>株式会社ケイミックス</p>	<p>横断幕</p>	<p>1 枚</p>	
<p>株式会社新川</p>	<p>のぼり旗</p>	<p>60 本</p>	

渡辺電業株式会社	のぼり旗	60 本	
武蔵村山市体育協会	横断幕	2 枚	
武蔵村山病院	横断幕・うちわ	うちわ (1000 枚)	
武蔵村山市社会福祉協議会	横断幕	1 枚	
武蔵村山市商工会	横断幕	1 枚	
総合体育館 (フクシエンタープライズ)	看板・飲料水	飲料水 (750 本)	

東京経済大学	横断幕	1 枚	
株式会社天乃屋	横断幕	1 枚	
武蔵 平成の間	のぼり旗	60 本	
武蔵村山市薬剤師会	のぼり旗	6 本	
東京ヤクルト販売(株)	飲料水	105 本	

協議事項 1 医療衛生関係業務について

I スポーツ祭東京2013武蔵村山市医療救護要項（案）

1 目的

この要項は、スポーツ祭東京2013武蔵村山市医事衛生計画（平成23年8月4日第1回常任委員会決定）に基づき、医療救護対策に万全を期するため、必要な事項を定める。

2 実施方法

スポーツ祭東京2013武蔵村山市実行委員会は、スポーツ祭東京2013実行委員会と相互に連絡調整を図り、関係機関、団体等の協力を得て、医療救護対策を実施する。

3 実施項目

(1) 競技会場における医療救護

- ① 競技会場に救護所を設置し、必要に応じて医師、看護師、係員を配置する。
- ② 救護所では、傷病者等に応急処置を行い、必要に応じて医療機関に移送する。
- ③ 救護所には、医薬品等を配備する。

(2) 練習会場における医療救護

練習会場には、軽易な医薬品を備え、必要に応じて係員を配置する。

(3) 宿舎、計画輸送中における医療救護

宿舎、計画輸送中において傷病者等が発生した場合、宿舎の管理者及び乗務員等は、速やかに医療機関と連絡を取り、その指示を受けるとともに、その旨を実施本部へ連絡する。

4 救急車の配備

競技会場における救急車の配備については、別途関係機関と協議する。

5 医療費の負担

救護所の利用に要した経費を除き、医療費は受診者の負担とする。

6 その他

この要項の定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

II スポーツ祭東京2013武蔵村山市防疫・食品衛生対策要項（案）

1 目的

この要項は、スポーツ祭東京2013武蔵村山市医事衛生計画（平成23年8月4日第1回常任委員会決定）に基づき、防疫・食品衛生対策に万全を期するため、必要な事項を定める。

2 防疫対策

(1) 防疫に関する知識の普及及び意識の啓発

所轄の保健所と協力し、感染症の発生防止のため、防疫に関する知識の普及及び意識の啓発を、必要に応じて実施する。

(2) 健康診断の実施

所轄の保健所と協力し、消化器系感染症の発生予防を重点とした検便等の健康診断を必要に応じて実施する。なお実施方法については、第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会防疫対策要項及び防疫対策実施要領に基づき実施する。

3 食品衛生対策

(1) 食品の自主的な衛生管理の促進及び関係施設等に対する衛生確保

所轄の保健所と協力し、宿舎や弁当調製施設等の食品関係業者等を対象に、食品衛生に関する知識の普及等を図るとともに、衛生確保及び食品の衛生的取扱いの向上を図る。

(2) 会場における食品販売店対策

所轄の保健所と協力し、競技会場の食品販売、休憩所に対して、食品の適正管理について必要な措置を講ずる。

(3) 大会関係者に食中毒患者が発生した場合は、食品衛生法、第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会食品衛生対策要項及び食品対策実施要領に基づき、所轄の保健所と協力し、必要な措置を講じる。

4 その他

この要項に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

協議事項 2 宿泊業務について

I 宿舎配宿状況について

宿泊業務については、本市における宿泊施設が1施設しかないことから、選手・監督、役員等が宿泊する施設を他市の宿泊施設を使用せざるを得ない環境であることから、平成23年3月15日にスポーツ祭東京2013実行委員会とスポーツ祭東京2013武蔵村山市実行委員会において、第68回国民体育大会合同配宿に関する協定を締結したところである。

スポーツ祭東京2013実行委員会が、合同配宿業務を委託した「株式会社JTB法人東京」によるハンドボール競技（少年女子）の配宿状況については、先日報告があったところであるが、以下の宿泊施設に配宿する予定となっている。まだ、全チーム分の宿泊所を確保していないため、引き続き交渉しているとの報告であった。

宿泊業務については、今後もスポーツ祭東京2013武蔵村山市宿泊計画（平成23年8月4日第1回常任委員会決定）に基づき、スポーツ祭東京2013実行委員会、株式会社JTB法人東京と調整の上、配宿していく。

ハンドボール競技（少年女子）確保済み宿舎配宿状況 (2012年10月現在) 単位：チーム

市町名	宿舎名	10/1	10/2	10/3	10/4	10/5	10/6	10/7
武蔵村山市	武蔵村山ビジネスホテル純和	1	1	1	1	1	1	1
青梅市	岩倉温泉 司翠館	2	2	2	2	2	2	2
	岩倉温泉 多喜山館	1	1	1	1	1	1	1
	岩倉温泉 儘多屋	1	1	1	1	1	1	1
	岩倉温泉 かわ村	1	1	1	1	1	1	1
埼玉県入間市	入間第一ホテル	4	4	4	4	4	4	4
	ホテルすずきや入間店	1	1	1	1	1	1	1
埼玉県所沢市	観音閣	2	2	2	2	2	2	2
	掬水亭	3	3	3	3	3	3	3
予想不足チーム数		3	3	3	3	3	3	3

II スポーツ祭東京2013武蔵村山市弁当調達要項（案）

1 目的

この要項は、スポーツ祭東京2013武蔵村山市宿泊計画（平成23年8月4日第1回常任委員会決定）に基づき、スポーツ祭東京2013（以下、「大会」という。）に参加する選手・監督、役員、視察員、報道員及びその他関係者（以下「大会参加者」という。）に提供する弁当の調達について必要な事項を定める。

2 実施方法

関係機関等と十分な調整を行い、大会参加者の弁当調達業務を実施する。

3 弁当の提供対象者

- (1) 幹旋弁当（有償で提供する弁当）の提供対象者は、大会に参加する選手・監督、視察員、報道員とする。
- (2) 係員弁当（有償で提供する弁当）の提供対象者は、競技会係員とする。
- (3) 支給弁当（無償で提供する弁当）の提供対象者は、競技会役員、競技役員、競技補助員、競技会補助員とする。

4 弁当の料金

幹旋弁当、係員弁当及び支給弁当の料金については、別に定める。

5 弁当の申込・発注

弁当の申込・発注については、別に定める。

6 保健所に対する協力要請

所轄の保健所に対し、次の事項について協力を要請するものとする。

- (1) 弁当提供営業者に係る指導助言
- (2) 弁当提供営業者に対する食品衛生の監視、指導及び必要と認める場合の試験・検査
- (3) 弁当引換所における衛生指導
- (4) 弁当提供営業者に対して実施する食品衛生講習会等における指導

7 弁当提供営業者の選定

次に掲げる事項を満たす弁当提供営業者を選定する。

- (1) 施設の整備及び管理運営が食品衛生法等に基づき、適正になされている施設であること。
- (2) 一日の最大弁当調製可能数が、施設、従事者数に応じたものであること。
- (3) 弁当調製において、武蔵村山市環境計画及び環境負荷軽減への取り組み方針に沿った対応ができること。
- (4) 別に定める基準を満たしていること。

8 弁当提供営業者の選定取消

選定した弁当提供営業者が次に掲げるいずれかに該当すると判明したときは、弁当提供営業者の選定を取り消すことができる。

- (1) 食品衛生法等の関係法令に基づく改善命令及び指導に速やかに従わないとき。
- (2) 食品衛生法等の関係法令に基づく許可の取消し、営業の全部または一部の禁止若しくは期間を定めての停止処分を受けたとき。
- (3) 弁当提供営業者を第三者に委託したとき。
- (4) その他、市実行委員会が不相当と認めたとき。

9 弁当の調達

弁当の必要数を把握し、弁当調達計画をまとめるとともに、弁当の調達にあたっては、弁当提供営業者に対し、以下の事項を遵守させるものとする。

(1) 弁当の調製

弁当提供営業者は、衛生的に弁当の調製等を行うとともに、清潔かつ運搬時に汚染のないよう包装する。また、弁当調製の際には加熱処理した食品を十分に放冷してから容器に詰め合わせることを。

(2) 弁当の納入及び容器等の回収

弁当提供営業者は、実行委員会が指定した時刻及び場所を厳守のうえ、保冷車等を利用するほか、容器包装の破損に起因する汚染等がないよう衛生面に注意して弁当を納入する。また、容器等の回収は、分別収集を行うよう努める。

(3) 食材

弁当に用いる食材については、地元食材の活用に努める。

10 弁当引換所の設置及び弁当の引換え

- (1) 競技会場に弁当引換所を設置し、係員等は弁当の引換え業務にあたるものとする。
- (2) 弁当引換所の設置、弁当の引換え業務について、所轄の保健所の指導のもと、保存方法の厳守のほか、消費期限、消費時刻を考慮した引き換え時間を設定するなど、衛生上の安全確保に最大限配慮するものとする。
- (3) 弁当引換え業務の際、早期喫食を周知するとともに、持ち帰りを禁止し、弁当容器を弁当引換所に持参するよう徹底する。

11 弁当代金の精算

弁当代金の精算については、別に定める。

12 その他

この要項に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

スポーツ祭東京2013武蔵村山市弁当提供業者選定基準及び選定方法

スポーツ祭東京2013武蔵村山市実行委員会（以下「実行委員会」という。）によるスポーツ祭東京2013の各競技等における弁当提供業者の選定基準及び選定方法は、次のとおりとする。

【選定基準】

1 衛生管理体制

- (1) 競技開催前の過去3年間に食中毒発生等により食品衛生法に基づく営業停止等の処分を受けていないこと。
- (2) 検食は、原材料及び調理済み食品ごとに50g程度ずつ清潔な容器（ビニール袋等）に密封して-20℃以下で2週間以上保存できること。
- (3) 調理従事者全員に対して大会開始前に検便検査（赤痢、サルモネラ属菌、ノロウイルス及び腸管出血性大腸菌を含むもの）の実施及び結果の確認が終了していること。
- (4) 食品賠償保険等に加入していること、もしくは大会期間中加入できること。
- (5) 実行委員会が指定した時刻・場所に保冷車を利用して衛生的に配達できること。または保冷車による配達と同等の保冷、衛生面の安全を確保し配達ができること。
- (6) 「大量調理施設衛生管理マニュアル」（平成9年3月24日厚生省発行）に基づく対応を実践できること
- (7) 東京都食品衛生自主管理認証制度に基づく認証を受けていることが望ましい。
- (8) 施設で使用する水は原水が水道水であること。また、貯水槽等を使用している場合は、過去1年間に水質検査を実施し、飲用適であることを確認していること。

2 弁当調製能力

大会に提供可能な弁当調製数（通常請け負っている弁当調製数を除くもの）が、1日あたり200食以上であり、調製の能力に余裕があること。

3 対応能力

- (1) 実行委員会が決定する単価に応じた弁当の調製が可能であること。
- (2) 実行委員会が指示する容器等での提供が可能であること。
- (3) 弁当の食材及び献立内容については、実行委員会の指示を遵守すること。
- (4) 実行委員会が指定した時期に献立の提案及びサンプル弁当の提出が可能であること。
- (5) 弁当の付属品として、お茶、割り箸、爪楊枝、お手拭き、持ち運び用ビニール袋を実行委員会の指示に従った内容で提供が可能であること。

- (6) 弁当の発注から納品及び弁当代金の精算については、実行委員会が示した取扱いに従うこと。
- (7) 弁当は、搬送に容易なダンボール等に積み込み納入できること。
- (8) 保冷車により配達した場合、運転手は弁当回収作業終了まで指定場所に待機すること。ただし、待機が困難な場合は、弁当を保冷可能な容器に詰め、担当者に引き渡すこと。
- (9) 喫食後の弁当容器は分別回収のうえ配達当日に持ち帰ること。
- (10) 荒天等により、競技会が中止になった場合、弁当の調製及び納入については、実行委員会の指示に基づく対応が可能であること。

【選定方法】

当該条件を満たす弁当提供業者の中から、大会における弁当提供の意思及び当該業者の現況（東京都食品衛生自主管理認証制度に基づく認証の有無、保健所の監視員による監視等）を勘案の上、実行委員会事務局が選定する。

協議事項 3 輸送交通関係業務について

スポーツ祭東京2013に係る武蔵村山市が実施する輸送交通関係業務について、スポーツ祭東京2013武蔵村山市輸送交通計画（平成23年8月4日第1回常任委員会決定）に基づき、大会に参加する選手・監督などの大会関係者の輸送を関係機関との密接な連携のもと、道路及び交通の状況等を十分に配慮しつつ、安全かつ確実に行う。

I スポーツ祭東京2013武蔵村山市輸送交通対策実施要項（案）

1 目的

この要項は、スポーツ祭東京2013武蔵村山市輸送交通計画（平成23年8月4日第1回常任委員会決定）に基づき、大会における輸送交通対策に万全を期するため、必要な事項を定める。

2 内容

(1) 計画輸送

① 輸送対象者及び輸送方法

対象者	輸送区分	輸送方法	計画輸送範囲
選手・監督	計画輸送* (持込車両の場合は 自主移動)	バス 持込車両	・ 宿舎⇄競技会場及び 練習会場 ・ 競技会場⇄練習会場
競技役員		タクシー 持込車両	・ 宿舎⇄競技会場 ・ 主要駅⇄競技会場
競技補助員	自主移動*	公共交通機関 (持込車両)	/
競技会役員			
競技会係員			
競技会補助員			
視察員・ 報道関係者			
一般観覧者			

*計画輸送とは、実行委員会で車両を借り上げて行う輸送をいう。

*自主移動とは、公共交通機関又は自家用車等の利用による移動をいう。

② 輸送担当の配置

ア 輸送業務を円滑に進めるため、実行委員会実施本部内に輸送担当係員（チーム班員）を配置する。

イ 輸送実施計画の作成

計画輸送業務を円滑に進めるため、関係機関・団体等と協議のうえ、計画輸送実施計画を作成し、必要車両の確保に努める。

(2) 交通対策

① シャトルバスの運行計画

競技会場へのアクセスが不便なことから、最寄りの駅からシャトルバス等を、必要に応じて、運行させる計画を検討する。運行させる場合は、関係交通機関と協議し、武蔵村山市環境計画及び環境負荷軽減への取り組み方針に沿った適切な対策を講じる。

② 交通案内標識等の設置

大会関係者等が安全、迅速、正確に目的地に到着できるように、関係機関・団体等と協議のうえ、必要に応じて競技会場等の周辺道路の主要箇所に交通案内標識を設置する。

③ 交通整理

競技会場周辺道路等において、大会関係者及び一般通行者等の交通安全及び混雑防止のため、必要な箇所に警備員等を配置する。

④ 緊急車両通行路の確保

緊急車両の出動時の通行路を確保する。

(3) 駐車場対策

① 駐車場の確保

大会運営上駐車を要する関係車両を精査し、競技会場周辺において十分な確保に努め、効率的な利用を図る。

車種	駐車場	駐車可能台数
乗用車	屋外体験広場	約 30 台
	総合体育館駐車場	約 30 台
	総合運動公園運動場(第 1 運動場)内	約 300 台
	総合運動公園運動場(第 2 運動場)内	約 200 台
	野山北公園運動場駐車場	約 100 台
バス	総合運動公園運動場(第 1 運動場)駐車場	約 4 台
	野山北公園運動場駐車場	約 10 台

② 駐車場の利用

ア 確保した駐車場の利用は、大会関係車両を優先し、一般観覧者については、自動車での来場の自粛を呼びかけ、駐車場の利用を最低限にとどめるよう努める。

イ 駐車場への誘導を円滑に進めるために、大会運営上、駐車を必要とする関係車両には、事前に駐車証を交付する。

③ 駐車場の整理

ア 駐車場には、警備員等を配置し、事故のないよう適切な車両誘導を行う。

イ 会場周辺等において、警備員等の巡回・指導により違法駐車防止に努める。

3 その他

この要項に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

協議事項4 防災警備関係業務について

スポーツ祭東京2013に係る武蔵村山市が実施する防災警備関係業務について、スポーツ祭東京2013武蔵村山市防災警備計画（平成23年8月4日第1回常任委員会決定）に基づき、関係機関との密接な連携のもと、防災警備体制を確立し、安全かつ効率的な大会運営が行われるよう万全を期する。

I スポーツ祭東京2013武蔵村山市防災警備実施要項（案）

1 目的

この要項は、スポーツ祭東京2013武蔵村山市防災警備計画（平成23年8月4日第1回常任委員会決定）に基づき、防災警備に万全を期するため、必要な事項を定める。

2 実施方法

スポーツ祭東京2013武蔵村山市実行委員会は、スポーツ祭東京2013実行委員会と相互に連絡調整を図り、関係機関、団体等の協力を得て、防災警備業務を実施する。

3 実施区域

実施区域は、競技会場、練習会場及び駐車場等（以下「大会関連施設」という。）を重点的に行うものとする。

4 大会開催前の業務

(1) 防災業務

- ① 防災意識の普及・啓発
- ② 大会関連施設に対する予防査察の実施及び防災対策の指導
- ③ 大会関連施設における消防用設備機器及び消防水利等の点検整備
- ④ 大会関連施設における防災訓練の実施
- ⑤ その他必要な消防防災業務に関する事

(2) 警備業務

- ① 警備業務実施計画の作成に関する事
- ② その他、必要な警備業務に関する事

5 大会開催期間中の業務

(1) 消防防災業務

① 消防防災体制

大会関連施設における火災その他の災害の予防及び火災等発生時における、消防防災体制の確立を図る。

② 業務の内容

- ア 大会関連施設における火災等の予防、警戒及び鎮圧に関すること
- イ 大会関連施設における救急救助に関すること
- ウ 大会関連施設の災害発生時における避難誘導に関すること
- エ その他、必要な消防防災業務に関すること

(2) 警備業務

① 警備体制

大会関連施設における雑踏事故、その他の事件・事故の防止を重点とした警備体制の確立を図る。

② 業務の内容

- ア 大会関連施設及び周辺における犯罪の予防に関すること
- イ 交通誘導警備に関すること
- ウ 大会参加者の誘導及び混雑防止の措置に関すること
- エ 大会関連施設における避難通路の確保に関すること
- オ その他、必要な警備業務に関すること

6 その他

この要項の定めるもののほか、必要な事項は別に定める。